



2021.06

ADF Newsletter

一般社団法人アジアデンタルフォーラム

〒113-0033 東京都文京区本郷 2-25-6 ニューライトビル 204 ☎ 03-3830-0304 ☎ 03-3830-0307

[vol.005]

タイ隔離ホテル紀行・続編

アジアデンタルフォーラム理事 鷲沢直也

前号でもお伝えしたように、私は昨年 12 月 18 日に日本を発ち 2 週間の隔離覚悟でタイ王国バンコク市に向かいました。

出発前 72 時間以内の PCR 検査を受ける必要があるので、事前に都内のクリニックで検査を受け、翌日陰性証明書进行、それを持って出発しました。羽田空港での出国手続きは通常より 2～3 割余計に時間がかかった程度でしたが、到着したスワンナプーム空港での検疫はかなり時間がかかりました。

飛行機から降りると、コンコースには数百席のベンチがずらりと並べてありました。私は飛行機からは 5～6 番目に降り、入念に書類などを準備して来たこともあり、イミグレーションに着いた時には先頭で税関を通過出来ましたが、それでも 1 時間半以上かかりました。他の乗客の中には書類の不備を指摘されたり、その場で書類を書いたりしていた人もおり、後方の人たちが何時ごろ終わったかは見当もつきません。



外に出ると、出口には各隔離ホテルのドライバーが待機しており、空港係官に付き添われて車まで「連行」されます。ここまでの行程は、さすがに少し緊張しました。ホテルでのチェックインも小 1 時間かかり、その後 15 泊 16 日の隔離生活が始まりました。

2021.06



長丁場に耐えられるようにキッチンやバスタブ、洗濯機付きの少し広めの部屋を予約したのですが、残念ながら食事は非常にレベルが低く、1日目の夕食が終わる頃には「これをあと40回以上も食べるのか」と暗たんたる気持ちとなりました。日本からは乾燥食品や調味料、若干の「禁制品」を持ち込んだのですが、役に立ったものは「のりたま、SB山椒の粉、乾燥カニ雑炊」などです。特に乾燥かに雑炊は食事では出されるタイ米で増量することができ、今回のヒット作のひとつでした。逆に役に立たなかったのは「乾燥大根おろし、乾燥納豆」などです。

毎日、定時にプラスチック容器に入った食事がドアの前に置かれ、水やゴミ袋、消耗品等は2日に1回の配給です。このあたりは何とも言えず「監禁生活」のイメージですが、LINEでルームサービスや消耗品を頼むことができるので、まあ快適とも言えます。もっともルームサービスといっても、ほとんどがタイ料理で、アルコールは「原則禁止」なので牛乳とかスナック類以外はあまり使いませんでした。1番助かったのは現地の友人からの差し入れで、お国柄なのか、あまりチェックも厳しくないようでした。

隔離中は7日目と10日目にPCR検査があり、1回目の検査で陰性になると1日40分だけ、決められた時間に屋上庭園での運動が許されます。それまでの間は1週間、部屋の中で毎日30分ほど歩いたのですが、ウォーキングシューズを持ってきたのは大正解でした。

その他、持参してきて良かったのは超軽量小型のWi-Fiルーターです。ホテルのWi-Fiは時間帯によってはスピードがぐんと落ちるので、昔ながらのモジュラージャックにつなぐWi-Fiルーターは非常に便利でした。そのおかげで、毎日快適に仕事ができただけですが、途中でノートパソコンの充電器に不具合が起きたらどうしようかと心配になりました。普通の海外出張であれば好きなときに何でも買えるのですが、今回のような場合は多少重くなっても予備を持ってくればよかったと反省しました。

2回の検査とも陰性で、その後1月2日に晴れて「出所」したのですが、終わってみれば思ったほど苦痛なものでもなく、逆にゆっくりと本を読んだり考えたりする時間がたっぷりあったので有意義に過ごすことができました。

その後、約1ヵ月ほどタイに滞在し、2月3日に日本に帰ってきました。本国内での自主隔離は比較的緩やかなもので、今となっては最初の厳しい隔離が懐かしく思えてきます。

Bangladeshにおける歯科技工普及拠点構築事業

株式会社モリタは令和 2 年度、北海道大学大学院歯学研究院とコンソーシアムを組み、アジアデンタルフォーラム（ADF）様を協力団体とし、経済産業省の補助事業に取り組みました。

本補助事業は過去から継続されており、当社も ADF 様と組んで 3 回目の実施となりましたが、今回はコロナウィルスの世界的蔓延の影響で、これまでより 2 か月ほど遅れて開始になったことと、渡航が出来ないという制限の中で推進することになりました。

今回の事業では、北海道大学に留学経験のある方たちで設立された Sapporo Dental College（SDC、2000 年設立、Bangladesh・Dacca）に日本歯科技工の普及を図る拠点を形成することにより、Bangladesh国内に日本式の歯科技工を定着させ、技工技術の向上を図り、歯科技工という新たな市場の創出を目指しました。

SDC 内には技工室となる場所の確保が済みであり、コロナの影響がなければ技工室を拠点に、現地で医療ニーズの高い「ホット床」「陶材冠」「義歯のフレームワーク」を教授し、キーマンとなる人材を日本（北海道大学）へ招聘し、実技指導を行うというプログラムを予定していました。また現地に渡航の際には、保健省の要人との面会を予定しており、制度が未整備の現地に対し、日本の歯科医療制度を紹介し制度構築の支援を目指しました。

これら産官学の協力により、質の高い日本歯科製品の輸出拡大を目指す事業でしたが、コロナの影響により、いくつかの制限の中、下記成果を達成しました。

①現地課題調査の実施

SDC を窓口、現地の歯科医師、医療関係者約 200 名を対象に、医療状況や市場の調査、患者動向の調査などを実施

②技工室の確保

SDC 内に技工室を設置、器材の一部提供

③人材育成

北海道大学による 4 本の歯科技工動画の制作と、YouTube での動画提供、Zoom を活用したオンラインディスカッションの実施

制作動画を DVD パッケージ化し、現地での教育に貢献

④現地大学関係者とのセレモニー

技工技術習得者を対象とした「Certificate」の授与と、日本歯科制度の紹介、日本製品の紹介を兼ねたセレモニーをオンラインで開催

これらを、限られた期間内に実施し、本補助事業の審査員の先生方からも高い評価を得られました。今回の調査内容と取組みをもとに、事業展開につなげるべく引き続き活動を推進してまいります。



The ceremony of Project for Establishing
Japan-Style Medical Service (FY2020)
Bangladesh Japan Joint Project
for Establishment of Dental Laboratory

Munday, December 21st, 2020
@ Faculty of Dental Medicine, Hokkaido Univ.



今後の予定

次回理事長懇談会の情報は決まり次第お伝えします。

会員企業からのお知らせ

Thinking ahead. Focused on life.

Veraview X800

New Frontier of the X-ray

ベラビュー X800は、CT撮影に加えパノラマ/セファロ撮影を1台で可能にしたAll-in-oneタイプのX線診断装置。高解像度、ボクセルサイズ80μmのCT撮影を実現。CT撮影は、水平にX線を照射することで、アーチファクトの少ない画像を取得できます。さらに、高精細な360度CT撮影モードとハイスピードで低照射線量の180度CT撮影モードを搭載し、診断目的に合わせた撮影を行うことができます。

発売 株式会社 **モリタ** 大阪本社: 大阪府吹田市南水町3-32-18 〒564-8650 T 06-6380-2525 東京本社: 東京都台東区上野2-11-15 〒110-8513 T 03-3824-6161
 お問い合わせ: お客様相談センター 歯科医療従事者様専用 T 0800-222-8020 (フリーコール) 製造販売: 製造 株式会社 **モリタ製作所** 京都市伏見区東浜南町680 〒612-8533 T 075-611-2141
 販売名: ベラビュー X800 標準価格 9,600,000円〜(消費税別) 2018年12月21日現在 一般的名称: デジタル式歯利用/パノラマ 新撮像X線診断装置
 機器の分類: 管理医療機器(クラスII) 特定保守管理医療機器 医薬機器承認番号: 228ACB2X00008000
 詳細な製品情報につきましては、こちらを参照ください。 http://www.dental-plaza.com/article/veraview_x800